

和歌山病院 ニュース

第19号

2007年10月発行



発行元

独立行政法人 国立病院機構 和歌山病院

職員一同は、患者さまの権利と立場を尊重し、地域と密着した

【安心と信頼をいただける病院】

をめざします。

〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138
Tel 0738-22-3256 Fax 0738-23-3104
ホームページ <http://www.wakayama-hosp.jp/>



煙樹ヶ浜（美浜町）から望む夕日

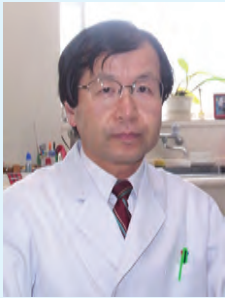
目次

- ◆ 病診連携医院のご紹介（第5回） 2
- ◆ 県下初の呼吸器センターを開設 2
- ◆ 新任ドクター紹介 2
- ◆ 「ふれあい看護体験」を開催して 3
- ◆ 看護師募集！ 3
- ◆ 摂食嚥下リハビリテーション研修会を終えて 3
- ◆ 外来診療担当表 4
- ◆ 職場紹介～放射線科～ 4

病診連携医院のご紹介（第5回）

～上田内科循環器 上田 栄蔵 先生～

- 診療科目 内科・循環器科・消化器科・呼吸器科・放射線科・リハビリテーション科
- 所在地 〒649-1342 御坊市藤田町吉田851-9
- 電話 0738-24-1555



医院について（自己紹介）—診療にあたっては、科学的な証拠に基づいて治療を行うこと、そして専門分野にとらわれずいろいろの視点から全体を見る、ということを中心にしています。専門分野の循環器疾患、特に高血圧は長期にわたり降圧剤を使用する必要があり、その人の血行動態の特徴を考え、より生理的な状態になるような降圧剤を選択しています。食事、運動療法などの非薬物的療法の指導にも力を入れています。

また、出来るかぎり患者様の問題点が解決できるように、患者様の訴えに耳を傾けるように心がけています。

おすすめ健康法は一脈拍が100回／分程度の運動（例：早足で散歩をするなど）を1日最低15分間はすること。

和歌山病院の印象—自然に囲まれ広々として環境が良く、心身ともに養生できる病院だと思います。**地域医療連携室より**—上田先生には、診療でお忙しいなか、いつお伺いしても、優しく丁寧に対応していただいています。そのような先生のお人柄が多くの患者様に慕われる所以ではないでしょうか。私たちも、職業人として、人として、見習わせていただきたいと思いました。

県下初の呼吸器センターを開設しました。

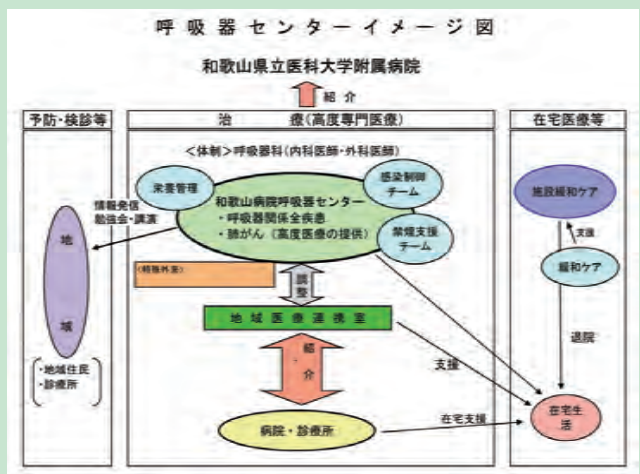
呼吸器センター長 乾 宏行

県下初の呼吸器センターの開式が6月14日開催されました。当センターの責務は、地域における中核基幹施設としての高度先端医療の追求とともに地域医療支援病院としての病院・診療所連携の発展・充実にあります。

呼吸器センターは医師チーム(呼吸器内科・呼吸器外科)だけでなく、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士などのスタッフから構成され、包括的な治療を実践する医療チームと位置づけられます。

近年著しい増加が懸念されている肺癌、慢性閉塞性肺疾患(COPD)の治療はもとより気管支喘息、間質性肺炎、気胸、肺結核の治療にあたります。またこれら疾患の予防のための健康教室や禁煙支援などの充実を図りたいと考えています。

紀中、紀南地区の呼吸器診療の中核施設としてその機能を果たすべく頑張っていく所存でございます。どうかよろしく願いいたします。



新任ドクター紹介

- ①専門分野 ②自分の○ ③自分の× ④余暇の過ごし方 ⑤オススメ健康法 ⑥当院の印象



やなぎもと りゅうた 柳本立太 (リハビリテーション科医長)

- ①呼吸器
- ②それなりに忍耐強い
- ③やや短気なところ
- ④散歩、庭いじり
- ⑤散歩、温泉
- ⑥広々としている

「ふれあい看護体験」を開催して

看護広報委員 岡 かすみ

7月25日（水）、平成19年度「ふれあい看護体験」を開催しました。近隣の高校より1年生から3年生の学生25名が参加し、白衣を着て血圧測定や車椅子の操作を行いました。また、病棟訪問で看護援助を体験し「病棟で患者様とお話をしたり散歩や手足を洗ったり、援助を通して喜びを感じ、看護師になりたい気持ちが一層ふくらんだ。」と多くの感想をいただきました。目標に向かって努力される学生さん達にエールを送りたいと思います。



看護職員対象の研修会のご案内

当院では以下の日程で看護職員対象の研修会を予定しております。

- ・10月16日 がん性疼痛看護認定看護師による講演会「疼痛マネジメントの基礎知識」17:30～18:30
- ・11月（日時未定） 「訪問看護の実際」
- ・12月（日時未定） 「結核について」



摂食嚥下リハビリテーション研修会を終えて

NST 栄養管理室 望月 龍馬

和歌山病院NST（Nutrition Support Team：栄養サポートチーム）では、入院患者様に対し診療支援として栄養管理計画書を基に、関節熱量計を使った栄養評価や嚥下造影検査（VF検査）を行い、個々の栄養状態の改善に力を注いでいます。その活動の一環として、8月6日（月）に、独立行政法人国立病院機構 千葉東病院歯科医長の大塚義顕先生をお招きし、当院の食事援助・口腔ケアの実際に合わせた病棟回診と、摂食機能療法リハビリテーションについてのご講演をいただきました。

病棟回診では現状の口腔ケア方法から、より適切な手技についてアドバイスを頂き、摂食回診として発達成長過程からの摂食アプローチや援助テクニックについて直接指導いただきました。

講演では当院職員（108名）をはじめ、県内の病院・医院や施設より医師・看護師・言語聴覚士など様々な職種（63名）の総勢171名の参加となり、摂食・嚥下障害リハビリテーションに

ついて関心の高さを感じました。

回診から印象に残る先生のお言葉として、摂食・嚥下機能の「何が出来ないのか」ではなく、「何が出来るのか、どの程度の機能が獲得できているのか」そして、「食べさせる」ではなく、「自ら食べる楽しさを感じてもらうことが大切である」と話され、先生の障害児（者）に対する熱い情熱を感じました。

NSTではこれからも栄養管理のサポートだけでなく、「食べる楽しみ」をまず基本と考え、摂食・嚥下の問題に積極的に取り組み、地域に貢献していきたいと考えています。



外来診療担当表

平成19年7月1日

		月	火	水	木	金	
総合外来	1 診	西村	伊藤	—	西村	—	
外科	2 診	畑田	前部屋	担当医	前部屋	有本	
乳腺外来		—	前部屋(午後)	—	—	—	
循環器科	3 診	楠山	石井	担当医	楠山	水越	
	5 診	豊田	猪野	—	猪野	豊田	
	6 診	石井	—	—	—	—	
	初診担当	猪野	楠山	担当医	豊田	石井	
神経内科	6 診	—	—	河本(隔週) 三輪(隔週)	—	河本	
呼吸器センター	初診	14 診	柳本	乾	早田	小野	市川
	予約診	15 診	—	—	—	中西	—
		16 診	駿田	小野	柳本	乾	畠
	呼吸器科 専門外来	14 診	—	—	禁煙外来 乾(午後)	—	睡眠外来 駿田(午後)
アスベスト・ 肺ガン検診	14 診	—	—	第1・3週 乾(午後)	—	—	
放射線科			担当医 (予約制)	—	—	—	
検査室	超音波室	—	心エコー	腹部エコー	心エコー	心エコー	
	機能検査室	—	心機能検査	—	心機能検査	心機能検査	
	内視鏡	消化管	—	—	—	—	—
気管支		—	気管支	—	気管支	気管支	

一. 受付時間 8時30分から11時30分

二. 診療時間 8時30分から17時15分

急患については、この限りではありません。

三. 再診については原則、予約制にしております。

四. 呼吸器センターについては、15・16診を予約制とし、予約外診療は14診にておこないます。

職 場 紹 介

～放射線科～

放射線科には大きく分けて診断部門と治療部門とがあり、最新の放射線機器・画像診断装置を完備して、高精度で迅速な画像診断や検査、およびQOLを重視した新時代の放射線治療やIVRを行っています。

診断部門では一般撮影(レントゲン)、乳腺撮影、X線CT、X線TV、心血管撮影、RI、などの機器を用いてデジタル画像を提供しています。また、マルチスライスCTによる肺癌検診も行っています。

治療部門では、CTを用いた最新の治療計画装置および照射装置の導入により確実に精度の高い放射線治療を行っています。そして画像診断技術を応用したIVR(インターベンショナル・ラジオロジー)と呼ばれる低侵襲的治療も行っています。例えばカテーテルを用いた経皮的冠状動脈形成術による心血管治療などがIVRです。これは外科手術よりも患者さまに対し侵襲が少ない利点があります。放射線科では、診療放射線技師4名と非常勤放射線科医師1名で頑張っていますが、これらの機器をスタッフが使いこなし、診断や治療に有益な情報を提供することが患者さまへのサービスと考え、常に思いやりといたわりの心情をもって、自分達のもつ技術を駆使しスムーズに検査を行い患者さまに気持ちよく検査や治療を受けて頂く様心がけています。



肺炎について

「とくに高齢者に高い死亡原因。予防策についても紹介。」



独立行政法人国立病院機構和歌山病院
呼吸器内科 柳本 立太
(リハビリテーション科医長)



■肺炎の死亡率が近年、人口の高齢化に伴い増加し『がん、心疾患、脳血管疾患』について第4位をしめています。85歳以上の男性では死因第2位、90歳以上の男性では死因第1位となっています。

■肺炎の典型例では咳嗽、喀痰、胸痛、呼吸困難などの局所症状と発熱、全身倦怠感などの全身症状が組み合わさって急速に出現しますが、高齢者では症状が欠如することがあり注意が必要です。



肺炎のレントゲン写真

■肺炎が疑われた場合、胸部レントゲン、CTなどの画像検査、血液検査、喀痰検査などが行われます。近年、肺炎の起炎菌として頻度が多い肺炎球菌（市中肺炎の第1位）やマイコプラズマなどの迅速検査も可能となり、早期診断に有用となっています。

■治療は一般的にガイドラインに沿った抗生物質の投与が行われますが、特に高齢者では肺炎にかからないようにすることも重要です。

■治療は一般的にガイドラインに沿った抗生物質の投与が行われますが、特に高齢者では肺炎にかからないようにすることも重要です。

●一般的な肺炎予防策を示します。

1. 口腔、上下気道のクリーニング・・・口腔内などを清潔に保つ。
2. 嚥下障害、誤嚥の予防・・・脳血管障害の予防。
ACE阻害薬などで咳反射低下の防止。
3. 栄養の保持・・・低アルブミン血症など低栄養状態は肺炎の危険因子。
4. 環境・・・適温、適湿を保つ。
5. ワクチン接種・・・インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチンを受ける。

基礎疾患のある方や65歳以上の方は特に推奨されています。

上記症状があれば受診して検査を受けてください。

看護師募集

国立和歌山病院

現在、就職先をおさがしの方
来年度の就職がお決まりでない卒業予定の方
既卒の方
当院の看護部は安心と信頼を追究しています！
一緒に働いてみませんか！！
まずはお電話下さい

連絡先：和歌山病院 0738(22)3256
担当：副看護部長 田中 ・ 給与係長 酒井



募集内容

常勤看護師（病棟勤務）・・・3名程度

応募資格	有資格者・50歳迄
身分	国家公務員
給与	17.8万円以上 経験年数による加算あり (例：資格取得後10年、年収460～500万円程度) 交通費支給あり（その他国立病院機構職員給与規程により支給）
賞与	年2回
昇給	年1回
勤務	三交替制・二交替制
休日	4週8休制 各種有給休暇あり
福利厚生	健康保険・年金 厚生労働省第二共済組合 看護師宿舎（ワンルームマンションタイプ）・院内保育所あり

夜勤専従看護師（パート）・・・3名程度

勤務時間	16：30～翌日9：00	給与	1回27,000円程度
回数	1ヶ月4回程度（相談に応じます）	交通費支給あり	



独立行政法人
国立病院機構

和歌山病院

〒644-0044

和歌山県日高郡美浜町和田1138

URL：<http://www.wakayama-hosp.jp/>